

単元名 詩を味わおう

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。
 (2) 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。
 (3) 友達との感じ方の違いに気付こうとし、詩を読んで思ったことや感じたことを深めようとする

標準的な展開例

03010201_001

【教材名】わたしと小鳥とすずと/夕日がせなかをおしてくる (上 P.112～P.115)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 二つの詩の似ているところや違うところを話し合う。 ★好きな詩を選んで、音読しよう。 ○二つの詩を音読する。 ○それぞれの詩を、一連と二連を比べながら音読する。 ○連と連の関係に着目し、二つの詩の似ているところや違うところについて話し合う。 2 好きな詩を選んで、音読を発表する。 ○二つの詩から、心に残った言葉や表現を見付ける。 ○選んだ言葉や表現について友達と話し合う。 ○友達と話し合って気付いた、二つの詩のよさを改めて出し合う。 ○学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆっくり、はっきり音読しながら、リズムや声の大きさ、強さに気を付けて読むように指示する。 ・ 連について教科書(P.159)「学習に用いる言葉」で確認させる。 <p>【評】連に着目して、音読する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 声に出して読んだり、ノートに試写したりしながら、自分の好きな言葉や表現を見付けさせる。 ・ なぜその表現を選んだのか、その理由も言わせるようにする。 <p>【評】心に残った表現や言葉を話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】詩を読んで思ったことや感じたことを改めて出し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書(P.115)「この本、読もう」を読んで詩集の読み広げに意欲をもたせる。

【 備 考 】